



ASEAN経済共同体(AEC)の現状及び各経済回廊における課題に関する研究

東京海洋大学 海洋工学部 流通情報工学科
黒川研究室 1223016 城戸 翔
指導教員:黒川 久幸 教授 2016.2.15



目次

研究背景

研究対象

ASEAN経済共同体の現状及び課題

各経済回廊における課題

結論

今後の課題

2

研究背景

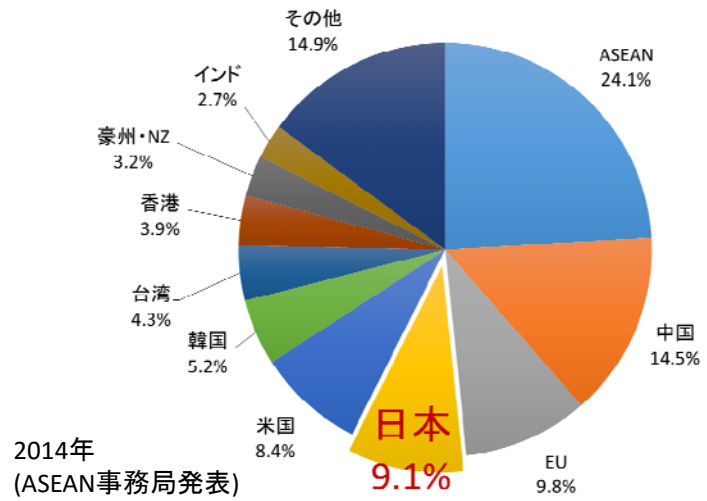
- 1) 2015年末にASEAN経済共同体 (AEC) が発足
- 2) ASEANには多くの日系企業が進出
- 3) 生産基地、販売拠点として重要

3

研究背景 ASEAN経済共同体の沿革

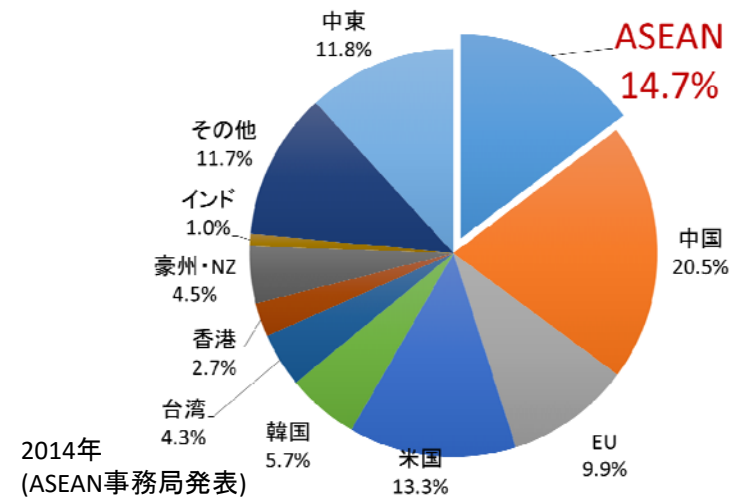
- 1967年: ASEAN創設
- 1993年: ASEAN自由貿易地域創設
- 2003年: ASEAN政治・安全保障共同体 (APSC)
ASEAN経済共同体 (AEC)
ASEAN社会・文化協力共同体 (ASCC)
からなるASEAN共同体を2020年までに発足させることに合意
- 2007年: AEC設立を2020年に決定
ブループリント(工程表)採択
- 2015年: AEC創設

ASEANの貿易パートナー



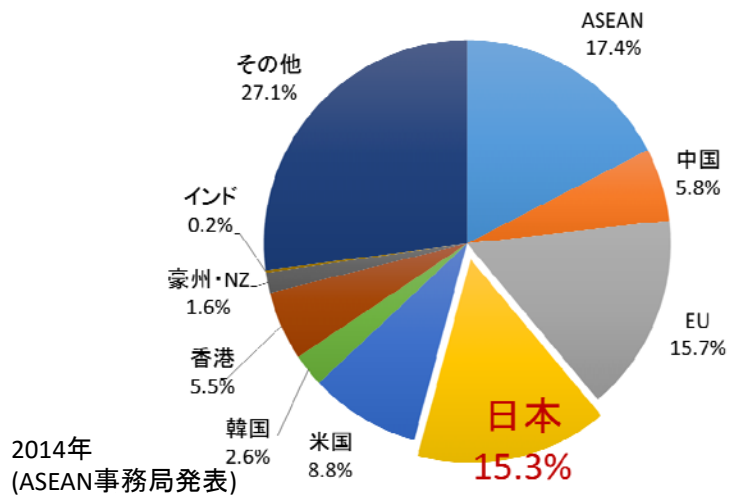
5

日本の貿易パートナー



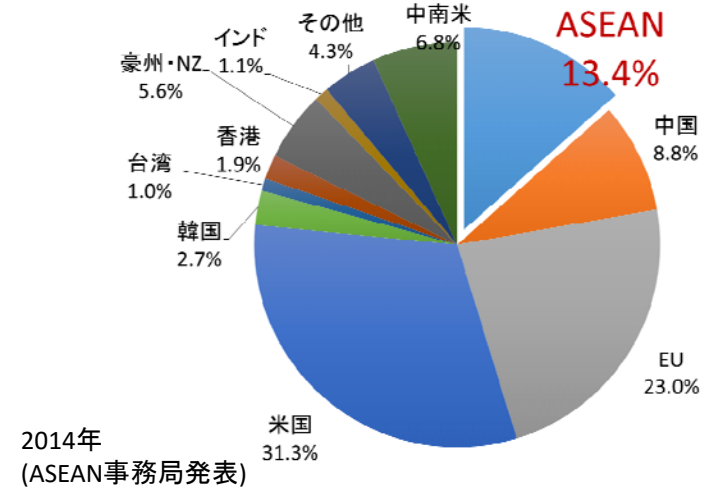
6

ASEANの対内直接投資額



7

日本の対外直接投資額



8

研究背景 日本とASEANの関係

- ・ ASEANにとって日本は、中国、EUに次ぐ第3の域外貿易パートナー
- ・ 日本にとってASEANは、中国に次ぐ第2の貿易パートナー
- ・ ASEANにとって日本は、EUに次ぐ対内直接投資国
- ・ 日本にとってASEANは、米国、EUに次ぐ対外直接投資先

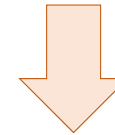


ASEANは日本にとって投資先、貿易額から見て重要なパートナー

9

研究目的

- 1) AECブループリント(行程表)の取り扱う分類で現状を分類
- 2) ASEAN経済共同体の現状の整理



各経済回廊における課題を抽出

10

目次

研究背景

研究対象

ASEAN経済共同体の現状及び課題

各経済回廊における課題

結論

今後の課題

11

研究対象 研究の対象国



タイ



インドネシア



シンガポール



ブルネイ



フィリピン



マレーシア



ベトナム



カンボジア



ラオス



ミャンマー

12

研究対象

経済回廊



13

研究対象

経済回廊

- ・ ASEANにおける越境・輸送交通円滑化を目的
- ・ 道路、橋梁等のハードインフラ、域内で統一された通関手続き等のソフトインフラを含めた国境を縦断（横断）する輸送網

目次

研究背景

研究対象

ASEAN経済共同体の現状及び課題

各経済回廊における課題

結論

今後の課題

15

AECの概要 AECブループリント

AECブループリントの4つの柱

- (1) 単一の市場と生産基地 **経済発展に重要だと考えられるモノの流れ**
- (2) 競争力ある経済地域
- (3) 公正な経済発展
- (4) グローバル経済への統合

16

ASEANの現状 単一の市場と生産基地

単一の市場と生産基地

- ・ 物品の自由な移動
- ・ サービスの自由な移動
- ・ 投資の自由な移動
- ・ 資本の自由な移動
- ・ 熟練労働者の自由な移動

17

ASEANの課題 単一の市場と生産基地

目標	取り組み	取り組みにおける課題
単一の市場と生産基地	非関税障壁の撤廃	円滑な貿易を阻害する、特定品目の輸入数量規制、輸入品の原産地証明の書式の統一等の非関税障壁の撤廃に向けた具体的な行動を策定する必要がある
	アセアン・シングル・ウィンドウ (ASW) 導入	各国における貿易手続きの窓口を一本化し、貿易手続きを簡素化するナショナル・シングル・ウィンドウ (NSW) を全ての国で導入する必要がある
	越境輸送円滑化	越境交通を円滑化させるための許可車両・事業者の越境輸送の許可等の協定を全ての加盟国で締結する必要がある
	サービスの自由な移動	サービス貿易の自由化のために、全ての業種において70%以上の外資出資を容認することや、加盟各国がASEAN域内企業からの出資を段階的に自由化する措置等を実行する必要がある

18

ASEANの現状 競争力ある地域

競争力ある地域

- 安定的で、繁栄した高い競争力を持つ経済地域を目指して
- ・ 知的財産
 - ・ インフラ整備
 - ・ 租税
 - ・ 電子商取引の普及

19

ASEANの課題 競争力ある地域

目標	取り組み	取り組みにおける課題
競争力ある経済地域	道路インフラ整備	ASEANハイウェイネットワーク (AHN) の道路幅拡張等を含んだクラス1への格上げ (2020年以降に繰り延べされている)
	港湾インフラ整備	コンテナ船に比べて荷役時間の短縮や港湾設備の簡素化を可能にするRoRo船ネットワーク整備に向けた調査を実施する必要がある
	鉄道インフラ整備	シンガポール-昆明鉄道SKRL (東回りを完成させる必要がある (2020年以降に繰り延べされている))
	エネルギー供給インフラ整備	ASEANガスパイプライン (TAGP)、ASEAN電力網 (APG) の残りの部分を完成させる必要がある
	競争・消費者保護政策	競争法は残り2か国で、消費者保護法は残り1か国で策定する必要がある
	知的財産保護政策	特許協力条約は残り2か国、マドリッド議定書には残り6か国が加盟する必要がある

20

目次

研究背景

研究対象

ASEAN経済共同体の現状及び課題

各経済回廊における課題

結論

今後の課題

21

南北経済回廊の課題

単一の市場と生産基地

・タイ、ミャンマーの輸送円滑化協定への批准

競争力ある経済地域

・ダウエー深海港の整備やミャンマーにおける道路幅の拡張工事が必要である

22

東西経済回廊の課題

単一の市場と生産基地

・タイの越境交通協定への批准が必要
・ラオス、ミャンマーにおけるNSWの導入

競争力ある経済地域

・ASEAN高速道路網のミャンマー部分の道路幅の拡張とタイ-ベトナム間における貨物積替え義務の撤廃が必要である

23

南部経済回廊の課題

単一の市場と生産基地

・カンボジアにおけるナショナル・シングル・ウィンドウ(NSW)の導入

競争力ある経済地域

・タイ-カンボジア間の国道4号線のカンボジア側における道路の整備が必要である

24

目次

研究背景

研究対象

ASEAN経済共同体の現状及び課題

各経済回廊における課題

結論

今後の課題

25

結論

- ・ASEAN経済共同体の進捗は、関税以外の分野でブループリントから遅れている
- ・特に、国境を越えたモノの流れの視点では、非関税障壁の撤廃が大きな課題となっている
- ・したがって、2015年11月に採択された2016年から2025年までの工程表であるAECブループリント2025に沿って、取り組みを加速させる必要がある

26

目次

研究背景

研究対象

ASEAN経済共同体の現状及び課題

各経済回廊における課題

結論

今後の課題

27

今後の課題

ASEAN経済共同体をを対象の中心

2012年及び2013年を中心とするデータ



EUやNAFTA等の他の経済共同体
2016年以降のAECの動向

28

ご清聴ありがとうございました

